

林業経営実践力アップ研修伝達研修開催

1 概要

「地域けん引型林業経営体」の一層の能力向上を図るため、森林整備課主催で「森林経営実践力アップ研修」が開催されていますが、第1回、第2回については、管内事業体の参加がありませんでした。

このため、研修内容の伝達をする伝達研修を1月9日(金)に開催し、管内4事業体から11名の参加がありました。



2 内容

まず、安全最優先で林業人を育てるとして、広島県の(有)安田林業の取り組みを紹介しました。

持続可能な循環型林業経営を目標としており、次世代に林業経営を確実に引き継ぐため、安全を第一として、跡を継ぎたいと思われるような事業体を目指していること、「林

業はサービス業である」とし、森林所有者に喜ばれる山づくりと出荷先に信頼される素材生産を行なっていることなどを紹介しました。

次に、コスト分析の基礎として、搬出間伐における生産性やコスト分析の必要性、分析方法について説明しました。

具体例により、人件費や機械経費、年間必要事業量などの計算方法を示し、作業日報のデータが計算の基礎となることから、作業日報の管理が重要性であることなどを説明しました。

3 今後の取組み

事業体のなかには、これから新たに林業機械の導入を計画している事業体もいることから、コスト分析が重要となってきます。

今後も、地域けん引型林業経営体の能力向上のため、指導を行なっていきます。

